

リサイクル燃料貯蔵株式会社	
提出日	2022年3月30日
管理表No.	0315-03 改訂00

項目	コメント内容
工事の方法	クレーンの改造工事手順としては、トロリストッパをトロリとボルト締めした後、トロリとの接続部分を溶接する流れという理解で良いか説明すること。 なお、設2-補-013-006「受入れ区域天井クレーン耐震性」P11に記載しているボルト締めの位置についても、上面から見た図を追加で示して説明すること。

(回答)

改造工事手順については製作工場にて板材を製作図を基に加工し、ガーダ部と取り合うベースプレートに開先加工したL形の板をL型の板の両側に対して長手方向に溶接を行う。

製作されたトロリストッパについて当事業所にて受入検査を実施後に、製作されたトロリストッパをトロリと固定ボルトで接続する。

なお、トロリストッパの固定ボルトについては、基準地震動 $S_s$ による地震力が作用しても影響がないことを「設2-補-013-006 受入れ区域天井クレーン耐震性」のうち「4.5 トロリストッパ固定ボルト評価」にて確認しており、トロリとトロリストッパの接続部分については溶接しない。

トロリストッパの取付図を図1に示す。

また、「設2-補-013-006 受入れ区域天井クレーン耐震性 4.5 トロリストッパ固定ボルト評価 図5 トロリストッパ固定ボルト計算モデル」について固定ボルトの位置を上面から見た図について追加したものを図2に示す。

なお、図1及び図2については「設2-補-013-06 受入区域天井クレーンの耐震性」に反映し再提出する。

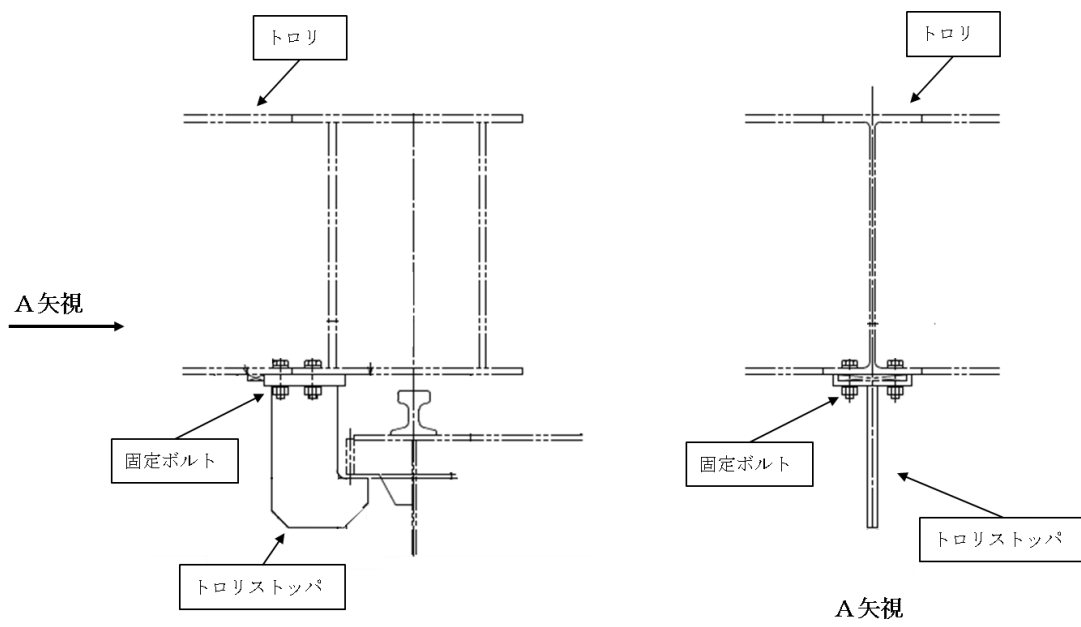


図1 トロリストッパ取付図

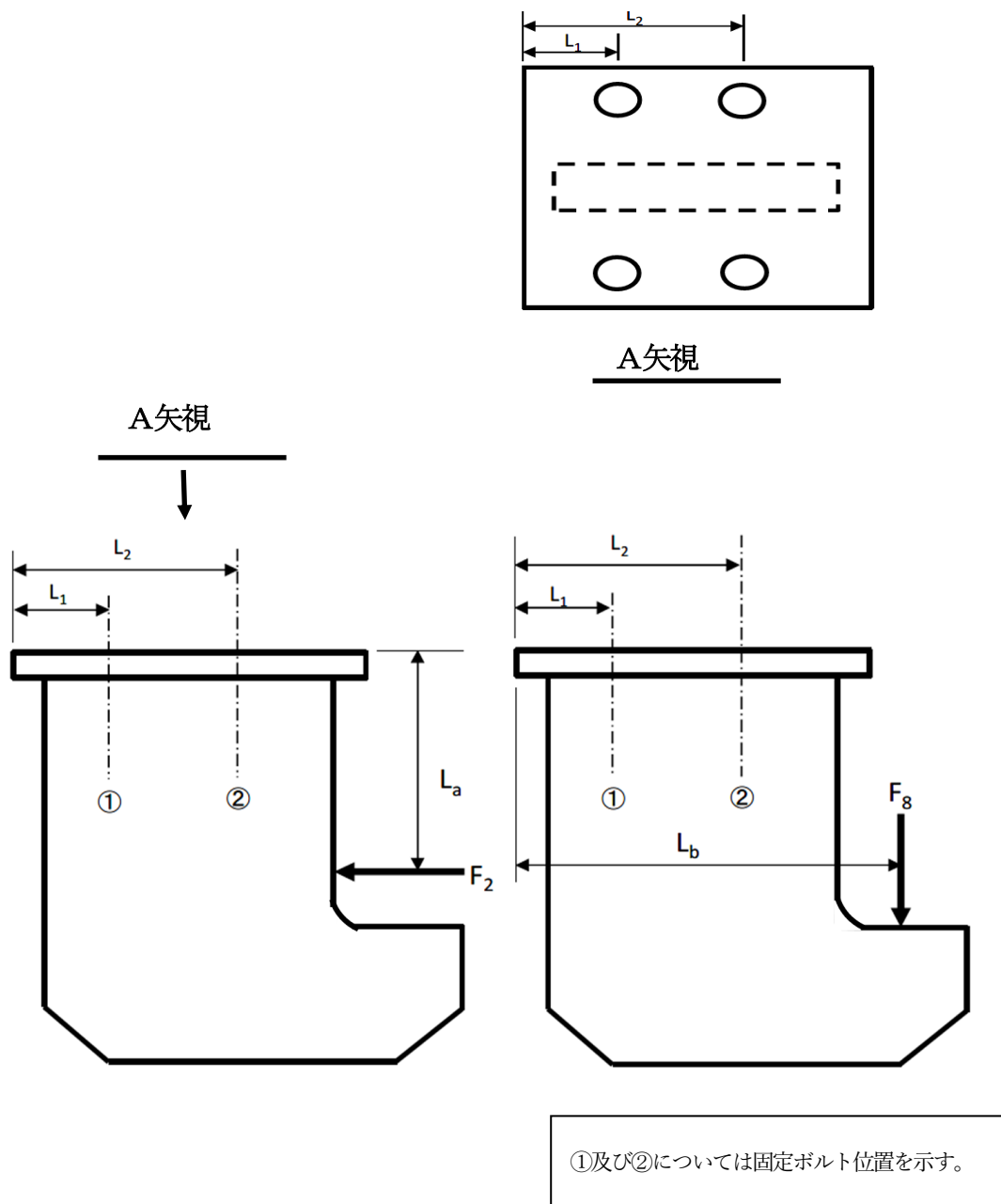


図2 トロリストップ固定ボルト計算モデル

以上